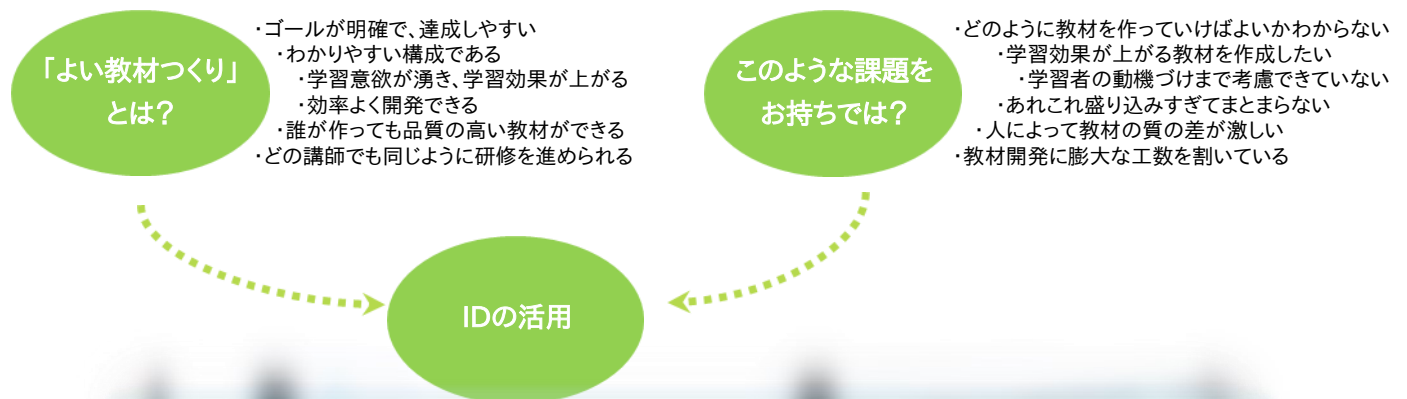


新入社員研修や階層別研修、勉強会、顧客向け説明会などを
 研修そのものや使用する教材を設計、開発、運営される方へ
よい研修を作る!

「魅力ある研修や教材作りのノウハウ」

～インストラクショナルデザインを使って効果的・効率的・魅力的な研修を設計する～

「新入社員研修を企画する」「次世代リーダーを養成するための研修教材を作る」など、「研修教材」の企画や開発を担うことがあります。「お客様向け説明会」「ユーザ勉強会」などの資料作成はエンジニアにとっても日常業務のひとつでしょう。多くの方が「どのような教材を作ればよいのか」「研修でカバーできるのはどこまでなのか」といった教材の設計や開発で悩みます。いざ作ってみたものの、参加者のレベルに合っていないため、教材として役立たないケースもあります。教育工学的アプローチである「インストラクショナルデザイン」を活用することで効率よく効果的、魅力的な研修と教材を作ることができます。（※「インストラクショナルデザイン」は、略して「ID」と呼ばれます）



■ IDを使わないと・・・

既存の資料を組み合わせ
 て教材を作れば、なんとか研修
 の準備はできるだろう・・・



「この教材、順番がよくわからないし、ポイントは何だろう？」

あれ？受講者の反応が
 鈍いなあ・・・

アンケートでも評判が
 今一つ

「いきなり資料作りをはじめちゃうのは、設計図もなく家を建て始めるようなものです。誰がどんな家に住みたいのか、分析し、設計し、建築にあたる。そういう順番は、モノづくりの基本です。教材開発においては、「インストラクショナルデザイン」という考え方が教材設計技法として活用されています。」

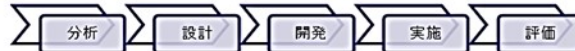
■ IDを使うと・・・

今回の研修は、何を「入口」と「出口」にする
 のだろう？ 参加者はどういう人だろう？



わかりやすく使いやすい教材だなあ。学習もはかどるよ

参加者や組織のニーズを理解した上でゴール
 を目指す教材を開発できた!



アンケートも
 上々

ID=モノづくりの基本的ステップを教育工学的な視点で体系化したものです



IDとは、教材を効果的、効率的に開発するための教育工学的なアプローチで、中でもADDIEというのがよく知られるモデルです。

学習項目

1. インストラクショナルデザイン (ID) 概要 (IDとは/ADDIEモデル概要)
2. 分析フェーズ (Analysis) (ニーズ調査/対象者分析)
3. 設計フェーズ (Design) (学習目標の設計/内容構成設計/プリテストとポストテスト)
4. 開発フェーズ (Develop) (既存教材分析/教材作成のポイント)
5. 実施フェーズ (Implementation) (ガニエの9教授事象/学習者の動機づけ ~ARCSモデル~/教授プランの作成)
6. 評価フェーズ (Evaluation) (形成的評価/総括的評価/カークパトリックの4段階評価)
7. 上記を段階的・体験的に学ぶための「演習」 (自分が作る予定の教材を段階的に作成し、フェーズごとに相互フィードバック)



学習目標

- IDとは何か、ADDIEモデルとはどのようなアプローチかを説明できるようになる
- 次の用語の意味を説明できるようになる(プリテスト、ポストテスト、ガニエの9教授事象、ARCSモデル、形成的評価と総括的評価、カークパトリックの4段階評価)
- 自分が担当する研修について、ADDIEのステップに従い、設計や開発し、必要なタイミングでレビューが行えるようになる

演習

参加者自身が実際に作る・使う予定の教材テーマに基づき、教材の設計から開発の一部を体験します。実際に作る・使う予定の教材の一つ想定してご参加ください。ステップごとに教材を作り、参加者相互・講師のフィードバックで、よりよい教材開発へと結び付けられます

トレノケートのID研修は、わかりやすく実践的で、実務ですぐ活用できます

「インストラクショナルデザイン」に関するほとんどの書籍はアカデミックに作られており、独習には向いていません。研修では、企業の研修にIDを活用する際押さえておきたいポイントを中心に解説し、ご自分が扱う予定の研修テーマを教材に演習を通じて設計していきますので、現場にすぐ持ち帰れる知識とスキルを効率よく効果的に学習できます。

以下のような声をご受講された方から頂戴しております：

- 研修の教材開発は”経験”でなんとなくわかっていたが、“理論”を学ぶことができ、“軸”をしっかり持って開発に当たることができるようになったと思った
- 研修教材を作る時、よりどころとなる考えがないことが不安だったが、IDを学ぶことで、効率よく効果的な教材開発ができ、その結果、よい研修を社員に提供できると思います

関連コース「トレイン・ザ・トレーナー」(ON258)

社内外で研修の講師を務める方のための「トレーナー養成講座」です。「成人教育」の考え方を始めとして、講義の進め方、「問いかけ」を使った受講者の巻き込み方、質問の答え方、視覚教材の効果的な使い方などを学びます。最終日にはご自分の教えるテーマを使ってプレゼンテーション演習もあります。1991年以来多くの方に受講していただいている人気コースです。

開発者からひとこと

演習を通じて、体験的に学習しましょう

田中 淳子 (たなか じゅんこ)

人材教育コンサルタント/産業カウンセラー/国家資格キャリアコンサルタント
日本DEC/トレノケートにて30年以上、人材育成支援にあたる。特に、「トレイン・ザ・トレーナー」(講師養成講座)や「インストラクショナルデザイン」など“教育学”に関する分野、企業の“OJT”支援などが活動の中心。著書『現場で実践!若手を育てる47のテクニック』『はじめての後輩指導』『対人力』の高め方』など。



トレノケート株式会社

〒163-6019 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー20階
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル11階
〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2-13 栄第一生命ビル6階

0120-009686 (無料)

トレノケート

検索